

令和3年度事業計画

「RASA-Japan の理念と行動基準」および定款第5条に規定されている「特定非営利活動事業」に従い令和3年度の事業を推進する計画でありました。

しかし、世界中に蔓延している「新型コロナウイルス」の感染拡大防止活動の呼びかけの影響を受け、事業推進のめどが立たなくなりました。

2021年2月の定例理事会（月例会）で審議の結果、令和3年度（2021年度）の活動はすべて中止せざるを得なくなりました。中止の事業と主な理由は以下のとおりです。

1 学校等教育施設の建設事業

- 1) フィリピンの建設予定地の教育省関係者が外出禁止令のため計画の具体化が出来ないこと。
- 2) 海外渡航ができないために現地確認や打ち合わせができないので計画策定ができない。

2 栄養障害児救済事業

- 1) 学童がコロナ禍の影響で登校禁止となり給食が出来なくなった。
- 2) 責任者の学校長が移動で交代し、後任の校長も2021年12月に転勤となった。児童の選定や給食の進め方、体制などすべての面が中断したままである。栄養失調児童のことを想うとコロナ禍の一刻も早い終息と、一日も早い給食再開ができることを待ち望んでいる状況である。

3 ボランティア派遣事業

学校建設事業、栄養障害児救済事業とも中止され、ボランティア派遣も連動して中止せざるを得ない。国内の大学も閉鎖されている状況であり、大学構内にも入れない。各大学のリーダーを決め大学が正常な授業が開始されるのを待って、活動再開の手はずだけは整えている。この間の活動はすべてオンライン会議によって行っている。

4 その他の活動

1) フェスタ・ジュニーナ

在留ブラジル人のフェスティバルが毎年夏に豊田サッカー場で盛大に行われる。RASAも招待を受け、ボランティア学生たちによるバザーの出店を出していたが今年はこの行事も中止された。

2) 名古屋市内の教会での体験発表会と活動支援募金活動

カトリック南山教会、カトリック平針教会、カトリック城北橋教会等でボランティア活動の体験発表会